

ロータスルート

さあ、つながって行こう!! みんなで花を咲かせよう!!

<http://www.myohokkein.jp/>

2025年(令和7年)5月24日発行
「ろおたす」からの〜通算424号

Report

Vol.43

日蓮宗

正中山別院
護国山妙法華院

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町4-5-8
TEL(078)575-2608 FAX(078)577-7651
kobe@myohokkein.jp

日本から未来を変える ワクワク
その思想は法華経から ドキドキ

GOJIKAICHO
HIROSHI OKAZAKI
SODAI SEVEN
KAZUO OOHASHI
YASUKO EDAZAWA
NOBORU KIZU
MASAKO AOKI
TAKATOMO AIUCHI
tsuyoshi kuse
KOICHI KISHIMOTO
ETSUKO AIDA

お寺と母 妙法華院 責任役員(総代) 大橋一夫

母の代理で総代となってから15年。若手総代と思っていたのに、気がつく和中堅総代になりました。一昨年に母が亡くなり、私も今年に古稀を向かえる歳となるため、母の誕生と同年に棟上げされた築95年の実家の建て直しを昨年から行っています。実家を整理すると、家屋の棟上時の写真、多数の掛軸、母の改造図面、過去の「ろおたす」などが出てきて、お寺との深い繋がりを再認識しました。曾祖父が建てた家でしたが、棟上時の写真からは、お寺に御祈祷をお願いしていること、1mに達しそうな立派な棟札を制作していただいていること、また新築の御祈祷もお願いしていることが確認できました。数十本の掛け軸は殆どが曼荼羅で日蓮宗との深い係りを感じ、過去の「ろおたす」から母のお寺への貢献を感じた次第です。幼い時に祖母がお仏壇前で毎朝お経を上げていたこと、父が亡くなってからは、母が引き継いでお経を上げていたことを思い出しました。お葬式以外のお寺との係りを実感し、私も実家を建て直すにあたり、家屋解体・樹木伐採、地鎮・棟上げにあたってのご祈祷や自家壇購入を進め、先祖とお寺と共に未来へ進みたいと思います。お寺も令和の改修を終えて変容を続けています。今後も進化するお寺の力添えになるよう総代の勤めに励みますので、よろしくお願いします。

おきらく日記

ウ〜よ〜

2025年2月25日(火)

昨年からの始めた登山だが、七面山に再びチャレンジすべく準備を始めている。「雪景色の中で、ご来光を見たい」という誓願を立てて、チェーンスパイクと呼ばれるアイゼンを準備した。今年最大級の寒波と呼ばれる天候の中、六甲山登頂を目指す。雪山は初めてなので色々コースを検討して、有馬から上がってロープウェイで下山する計画を立てた。せっかくなので登頂前に有馬妙見寺へ初めてお参りして、有難いお加護をいただく。途中で滑って転倒した人も目撃したが、女房と私は不安なく歩けた。とりあえず第1弾は美しい自然から沢山のエネルギーをもらって、気持ちよく成功。

『和を以て貴しとなす』
水に流せる思想を持つ日本

住職 新聞智孝

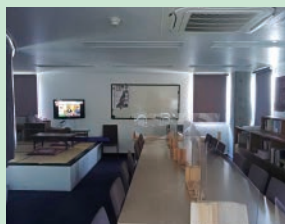
お釈迦さまが出現なさったインドの国を月氏国といいます。月が西から東に向かうのは、インドから仏法が東へと流布するという瑞相です。太陽は東から昇って西へ沈みます。これは日本の仏法がインドへ還るという瑞相なのです。月の光が儼いように、お釈迦さまが法華経を説かれた時代は8年という短いもので、その利益を当時に頂いた人は僅かです。しかし太陽の光明は月に勝るのです。日蓮聖人によって日本国で大きく広がったお題目の光は、8年で終わることなく現代にまで拡がりながら照らし続けています。

仏教が日本に根付いたのは聖徳太子の影響が大きく関与しています。そして太子が一番重んじたのが「法華経」なのです。それを根底に「17条憲法」が制定されました。そしてその流れは今の「平和憲法」へと繋がっているのです。基本理念は「和」。日本人はもとより争いを嫌う穏やかな民族です。だから和を大きく広げて大和(やまと)の国を目指しました。和食や和服・和裁・和室等は全て日本の文化です。調和・穏和・柔和からもイメージできるように我が国は世界に対して「平和」を率先して目指さなければならぬ立場にあるのです。お釈迦さまの時代には法華経の思想を知る人は限られましたが、現代は「知りたい」と思えばいくらでも手段があるのにも関わらず、仏教や法華経に興味を持たない人が充満しています。我が国に世界で唯一原子爆弾が落とされ、原発はメルトダウンしました。日本の国民は、その事実をどれほど自覚しているのでしょうか。

「令和」という時代に生きる私達の使命を。追伸 日本人の大谷翔平選手が全世界から評価されているのは、野球センスだけではなく、その人間性です。機は熟しているのです。



講演会するとき～♪



光の調節も自由自在

肆階

結梗

諸佛於此
轉於法輪
諸佛於此
而般涅槃

ご利用料金(税別)：1時間単位 基本料金2,000円 夜間料金2,500円

令和6年10月末に母が亡くなり、葬儀はお寺で行うことに決めていました。夜は自宅に戻るか近隣ホテルを手配することも考えましたが、母の側にいたいということで、私達夫婦と従兄弟で4階和室に宿泊しました。時間も自由で一人ずつシャワーを浴びることもできますし、葬儀社に布団セットを依頼することで、着替え・洗面道具の最小限の荷物だけ持参でOKでした。和室は襖の間仕切りがあるので、中部屋は寝室、小部屋は着替え場所としました。町中の宿泊なので騒音が不安でしたが意外と静か、自宅やホテルへの移動の時間もなく朝まで熟睡することができました。何と言っても、お経は通夜・葬式の2回と思っていましたが、お寺では朝勤もあるので、3回も読経いただいて感謝しております。まだ工事途中だったため、会席会場としては使用できませんでしたが、大人数の場合は座卓として畳に座って使用することもできます。テーブル・椅子席でも最大36名の仕様にすることも可能です。高齢者の方も立ち上がりがちちょっと楽になり、落ち着いたくつろげる和室になっています。食べ物や飲み物も持ち込み自由ですから、費用も抑えられます。皆さんも綺麗な和室をぜひ使ってみて下さい。

長尾嘉郎



懇親会のとき〜♪



講演会のとき〜♪

下駄箱と衣紋掛けも完備

い草の香りで眠る安心感

喫煙所の隣は屋上庭園

冷蔵庫はエレベーター前

和室は湯呑・コップもあります

和室はガス設備がありません

物入れにスクリーンを備付

◆利用規定◆

①利用日の 2ヶ月前から申込みを受け付けています。電話による予約は可能ですが、利用当日までに、手続きと利用料金を納入の上、許可証を受け取って下さい。利用者の都合により申し込みを取り消された場合は、料金の返還は出来ません。

②護持会員が利用の場合は、一回につき料金全体より 1,000円(税別)を割引致します。

③エントランスは、1週間、その他は2日間連続して利用が可能です。

④全室禁煙です。喫煙は指定の場所にてお願いします。

⑤利用時間帯には、準備と片付けの時間も含まれています。

⑥飲食の持ち込みは自由ですが、前もって相談願います。

⑦料金には、光熱費と駐車場利用は含まれております。駐車場は先着になります。満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用下さい。但しサービス券の発行はありません。

⑧ゴミの分別に、ご協力下さい。大量のゴミに関しては、事務所でゴミ袋をお買い求め下さい。(1枚100円)

⑨慶弔時の席料は別に定めます。

⑩備品を壊した場合には、修理代の実費を申し受けます。

⑪営業目的・物品販売を行う場合は、申込をされる前に必ず相談願います。

⑫利用当日に、お寺で葬儀を行う場合もありますが、予約の部屋の使用は可能です。

⑬反社会勢力と関係有している場合には利用出来ません。

⑭上記以外の事柄について不明瞭な点があれば、事務所にお尋ね下さい。貸出備品ワイヤレスマイク・プロジェクター・スクリーン・講演台、会議室と和室にはポットと湯飲みやグラス・冷蔵庫・テレビを常設しています。

駐車場

ご利用料金は無料

シャワー室

化粧洗面台

施設説明も動画配信しています
(携帯電話からでも見られます)

①説明編

②案内編

MyYouTube

いざという時の臨時駐車場

息はきれぎれそれでも走れ
親愛なる人々へ

お寺は年かけて開創一四〇周年記念事業の大改修工事を完工し、師匠の第13回忌の法要も無事に終わりました。この4月からは三年に一度の役員の改選を行い、新しい総代さんも加わって、新たなスタートを切りました。
整ったお寺をいろんな方に利用して頂きたいと思っています。そのついで、別チラシにあるような私がプロデューサーするお葬式です。お題目のパワーがあふれているお寺を使っているお見送りが出来ると思います。また6月には体験型寺子屋を復活させます。今回は檀家さんの中から、手芸の先生をお招きさせて頂き、タッセル作りを皆さんに楽しんでもらう予定です。こちらもちんちんを参考に、沢山の方々のお申し込みをお待ちしています。
お寺を法事や先祖供養だけで利用するのは「勿体ない」と思いませんか。お寺は皆さんにとって価値ある存在にならなければなりません。色んな可能性を秘めた施設です。
使ってみようと思ったら何なりとご相談下さい。

エントランス

外部からの入回

ご利用料金：1日単位 基本料金10,000円
(税別) 4時間 夜間料金 3,000円
展示会、個展、バザーなど外から入りやすい土足スペース

おきらく日記

37年前の記念品 2025年4月13日(日)

現本堂が落慶したのが、昭和63年春のこと。その時の記念品が沢山倉庫に残っていた。写真のような仏壇の前に置く線香やろうそくを立てる小物入れ。今から見ると当時の仏壇の浜屋の包装紙も懐かしい。一度配っているものだし、誰も要らないか？と思いながら会議で聞くと意外ともらってくれました。新しい檀家さんで欲しい人があったら…と、春のおせがきでも「良かったら持って帰って」と呼びかけました。そうすると意外や意外、思ったよりも無くなりました。「震災で潰れてなくなったから…」ああ、そういう人もいるのか。在庫まだありますから、欲しい方は事務所に声をかけて下さい。無駄にならないで良かった。



年々増加する建物の合間から無事に



夜明け前からお勤めは始まります



今年から zoom 講義も始めています



15 時間以上の修行で修了証を授与



神戸は活動の原点と石原顕正師



声明と筑前琵琶による音楽法要

SHINNEN SHUKUTOUE

新年祝祷会 2025年1月1日(祝)

数年前より元日の新年祝祷会に、参加させて頂いております。始発で来るのですが、本堂に入ると、もうすでに朝勤が始まっており私も慌てて経本を開き目で追います。本堂での勤行が終わって納骨堂の屋上へ移動し、日の出を待ちます。しばらくすると雲の切れ間から神々しい見事な初日の出を見ることが出来て、皆で手を合わせてお題目を唱えました。すごく感動しました。その余韻に浸りながら本堂でお上人のお話、今年は御節の内容について教えて下さいました。お寺での貴重な時間は、私を清々しい気持ちにさせて頂けるので、とても感謝しています。 大松純子

SHINGYOUKAI SHURYOUSHIKI

信行会修了式 1月11日(土)

日頃、檀信徒として唱えている「南無妙法蓮華經」の意味は？法華經とは何？と思うようになりました。その学びの場として信行会があることに気づき（家族に連れられ何度か参加したことはあったのですが…）改めて学びたいとの思いから参加することにしました。前半（読経・唱題）後半（講義）の3時間です。お上人の講義は、私達の理解に合わせて丁寧で、かつ学問的で興味ある内容です。仏教の歴史・法華經の内容そして日蓮聖人のお言葉まで、お寺の行事に参加するだけでは得られないことが学べます。知ることは楽しいことです。皆さんもいかがですか。 枝澤安子

希望の鐘 2025年1月18日(土)

阪神淡路大震災の30年。私の5時46分は、ここ数年は毎年お寺で太鼓を敲いて法味を捧げています。午前中は山梨県の石原顕正上人を中心としたNPO法人「Earth」の主催する市民追悼式に出仕しました。震災発生時から長年ボランティア活動をされて、被災者に寄り添ってきた団体です。全国から手弁当で何人もの聲明師が駆けつけてきて、音楽法要を勤めて下さいました。私は座っていただけなのですが、色んな思いが交差し深く考える貴重な時間となりました。



KANSHUGYOU TAKUHATSU

寒修業托鉢 1月下旬

私が寒行に参加する決意をしたのは母の実家（弘前市・満行院）で行われていた事がキッカケで、平成6年の事です。それから毎年欠かさずに歩いています。寒行は夕方の出発前に御宝前で道中の安泰を祈り、帰ったら無事を仏さまへ報告。道中は一心に団扇太鼓でお題目を唱えます。コースは9晩ありますが、それぞれに趣があり感ずることが違います。私は特に日頃見慣れている「三光天子」への感謝の気持ちが自然と湧いてくるのです。年々足腰が弱くなって離脱が近づいている気がします。年齢に関係なく寒行も信行会もぜひ一度体験してみてください。智孝上人が心待ちにしておられます。 鎌田秀美

SETSUBUN HOSHIMATSURI

節分星祭り 2月2日(日)

【厄年で年女】ということでお声がけ頂いた今年の豆まき。密かな意気込みとは裏腹にコントロールは定まらず…。コツを掴んだ頃にはハイ終了。晴れ舞台？は呆気なく幕が閉じました…。しかし、節分の記憶と言えは【幼稚園児の時、祖父作の鬼のお面が超強面＋牙でリアルに怖過ぎた件】だった私…笑。そこに今回、かわいい記憶が加わったのです。お寺の豆まきはお子さん向けの菓子も沢山！あの子もこの子も、あっちでもこっちでもお菓子getに勤しむ姿が楽しそうで、♪とっても微笑ましい空間でした。みんな来年も遊びに来て下さいね～ 高瀬貴美子

REKIDAI BOHI KAIGEN

歴代墓碑開眼 3月8日(土)

私と先代上人との出会いは50年以上も前になり、木造本堂の時代からです。棚経の運転手をさせていただいたり、宗平協の海外旅行ではラオスやベトナムに荷物持ちとして御伴しました。お寺では寒行や信行会で修行し、檀信徒研修道場にも参加させて頂きました。思い起こせば西村上人から山口御夫婦、大橋ヒデ子さんにも親しくさせて頂きました。護持会長が青木守・空閑義朗・杉山雅威氏に引き継がれましたが、杉山氏が急逝されたので、私が会長代行をさせて頂いて、そのまま会長の職を引き継がせていただいたて現在に至っております。第13回忌を迎えた新聞智照日明上人の墓前で色々な事を思い出しながら、感謝の気持ちで参列し焼香させて頂きました。 岡崎 洋

HARUHIGAN SEGAKI HOUYOU

春彼岸せがき法要 3月20日(祝)

暑さ寒さも彼岸までと云われます。厳しかった寒さもありましたが、やっと春到来お彼岸の法要に。念珠とテキストのお施餓鬼本を持って嬉しい気分でお寺へ向かいました。お寺では、お知り合いになられた方々と。「お元気でしたか？」と声かけし御一緒出来ることも嬉しい事です。一年に三度のお施餓鬼には、日々平穩に過ごさせて頂いているのも、ご先祖の守護のおかげと感謝しております。お上人様方の読経の速さには、遅れつつも懸命に読み進めます。やっと経本の最終で「黙然として信受す」で終了されますと、私はふっと大きな息をして達成感を覚えています。お寺では年間行事やイベントもあります。今後も前向きに参加させて頂きたく思っております。皆々様お寺で元気に会いましょう。 紙野洋子

SHICHIMENSAN TOKEI

七面山登詣 4月2～3日

2回目となる七面山は「雪山に挑戦したい」と思い計画を立てました。ところが前夜のライブカメラは猛吹雪。どうなることかと逆に心配に。しかし登山口に着くと雪も無くお天気で「これは富士山も拝めそう！」と頑張ります。ところが途中から雲交じりの雨に変わり、残念ながら今回は富士山を拝せず。ですが敬慎院に参籠して七面大明神様の空気に触れるとすっきりします。この登山道は歩くことで心の垢が落ちるそうです。せっかく法華經に縁を頂いている皆さんです。一度は是非チャレンジしてみてください。 新聞陽子



KAISANE・HANAMATSURI HOUYOU

開山会・花まつり法要 4月6日(日)

今年の開山会の法要は、お釈迦様の降誕会と併せて新聞智照上人の第13回忌の法要でもありました。私は若いころ父親の影響もあって、仕事仲間達と一緒に先代上人からご指導を頂いておりました。それは法華經の勉強だけでなく、読経・写経・水行と僧侶の方々と同じレベルでの修行でした。一時は僧侶になることも勧められ「智順」という名前まで頂いておりました。その頃に写経した一部経が最近、同じ総代様のお宅から見つかつて、今更ながらお寺との深い縁を感じております。 永尾嘉基



KOUENKAI HOUENKO

珓演会法縁講 5月8日(木)

定例の法縁講を今回は妙法華院さんで受けて頂きました。聞くところによると先代智照上人が、今年で13回忌を迎えられたとのこと。早いものですね。今回の法縁講は、ご住職の希望で本堂でなく、歴代墓碑を建てられた納骨堂で法縁各聖とともに法味を捧げさせて頂きました。控室の和室も綺麗に改修されていて縁祖の佛心院日晝上人のお曼荼羅も掲げられていました。美味しい食事も頂いて皆でゆっくりと交流を深めることが出来ました。智孝上人には、これからも益々お元気で活躍頂き、宗門興隆そして堺法縁の発展の為に引き続きご尽力を頂きたいと思ひます。また最後に妙解院日明上人の増圓妙道と妙法華院様の寺門繁栄をお祈り申し上げます。 関西堺法縁法縁長・服部聖海



身延の枝垂れ桜は見事です



是非とも YouTube を見て下さい



花びらが舞う季節の中で



お釈迦さまに甘茶で感謝



力強い読経の法味を

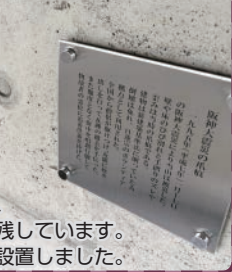


魂がビリビリと共鳴する空間

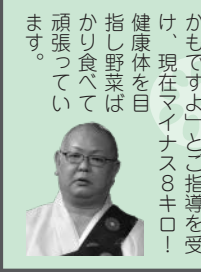


震災爪痕プレート設置

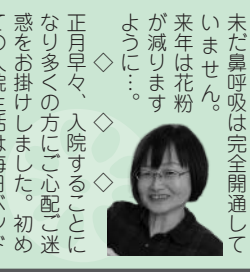
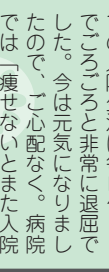
阪神大震災30年。お寺は震災の教訓を後世に伝えるために、その爪痕を意識的に残しています。この春に説明看板を設置しました。



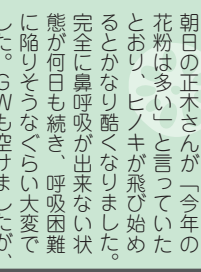
★国民平和行進
7月10日(木) 時間は午後2時ごろ
兵庫区役所・長田区役所まで
参加希望の方は、
お寺へお問い合わせください。



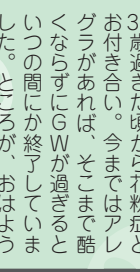
★土用丑の御祈禱
7月19日(土) 午前11時
祈禱料1人目3000円
家族2人目からは半額



★寺子屋第15弾
タッセル教室
6月21日(土) 午後2時半受付
参加費2000円
定員20名
檀家さんへは一般の方より先にご案内。



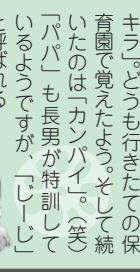
★運営会議
総代・護持会役員はご出席下さい。
時間は、いずれも午後2時
6月7日(土)
6月7日(土)
7月6日(日)
※8月の運営会議はありません。



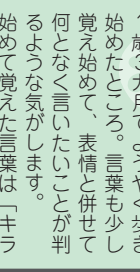
★護持会奉仕日
6月13日(金) 宗祖開祖聖日 唱題後
7月16日(水) 唱題後
8月16日(土) 9時半



★信行会
時間はいつでも午後1時
Zoomは配信は
午後2時半からとなります。
6月20日(金)
7月18日(金)
※8月の信行会はありません。



★唱題のついで
時間はいつでも午前9時半
6月7日(土) 平和記念日
6月13日(金) 宗祖開祖聖日
7月13日(日) 宗祖開祖聖日
7月16日(水) 立正安国論呈上日
※8月の唱題はありません。



予告記事
GWに東京から長男夫婦が孫を連れて帰ってきました。1歳3カ月でようやく歩き始めたところ。言葉も少し覚え始めて、表情と併せて何となく言いたいことが判るような気がします。始めて聞いた言葉は「キラキラ」どうも行きだての保育園で覚えたよう。そして続いたのは「カンバイ」。(笑)「パパ」も長男が特訓しているのですが、「ジー」って呼ばれるのは、未だ抵抗がある私なので

